

## 「地域の支え合い」に 役立つ社協に

鶴崎和宏会長（山崎町五十波）



少子化が進むなか、家族の小規模化が深刻な問題になりつつあります。地域の支え合い、助け合いの気運が少しでも高まるために、社協が役立てるよう役職員一同努力する所存です。本年も変わらぬご支援をお願い申し上げます。

## 福祉のために浄財を！

小椋清之助副会長（波賀町鹿伏）



社協の役割は、生活支援を必要とする方々が地域で安心して暮らせる環境づくりをすすめることです。そのために、市民の皆さまの真心の浄財を必要としています。善意の預託、募金等は今後共にご支援をお願い申し上げます。

## 安心、安全の宍粟を

西林長太郎副会長（宮町東市場）



昨年8月の豪雨災害に多くの市民が苦しめられました。宍粟人は苦難にめげぬ支え合う精神、相互扶助で災害を切り抜けられる市民軍団です。「だれもが安心して暮らせるまちづくり...こんなことを夢みて福祉に取り組みたい。」

## 変化する社会への対応

堂場政彦副会長（千種町河内）



私の住んでいる自治会では、ひとり暮らし高齢者の家庭が目立つようになりました。宍粟市の全体的な傾向かと思えます。市の社協がこうした状況に敏感に対応しながら、益々発展していくことを期したいと思います。



# 宍粟市社協 で地域をつくる！

は、災害ボランティアセンターの運営を通して、社会福祉  
た。2010年、宍粟市社協は合併から5年目を迎えます。  
の理事が宍粟市社協への思いを語りました。

## 福祉のまちづくり

水谷 雄理事（山崎町加生）



高齢化の進む宍粟で「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」は社協の基本理念です。自治会別懇談会を通して、社協の活動を十分理解していただき、また、各種募金等を通して社協事業にご参加ご支援を一層お願いします。

## 社協は地域福祉の推進役

鎌田珠子理事（山崎町西鹿沢）



「募金や会費など社協活動には意見もあったが、今回の豪雨災害で社協はなくてはならぬものだと感じた」（本紙No54）等の評価もいただきました。社協が地域福祉の推進役の役割を一層果たせるよう、温かいご支援をお願いします。

## 自治会別懇談会での 出会い、ふれあい

村上ノリ理事（山崎町山田町）



お盆を襲ったすさまじい災害に機敏に立ち回った社協。その活動は市民の心を打ちました。これも、地域の隅々にまで理解と賛同を求めようと巡ってきた自治会別懇談会の賜物だと思っています。出会い、ふれあい、皆様の心を肌で感じました。